

市民に親しまれる道路をめざして

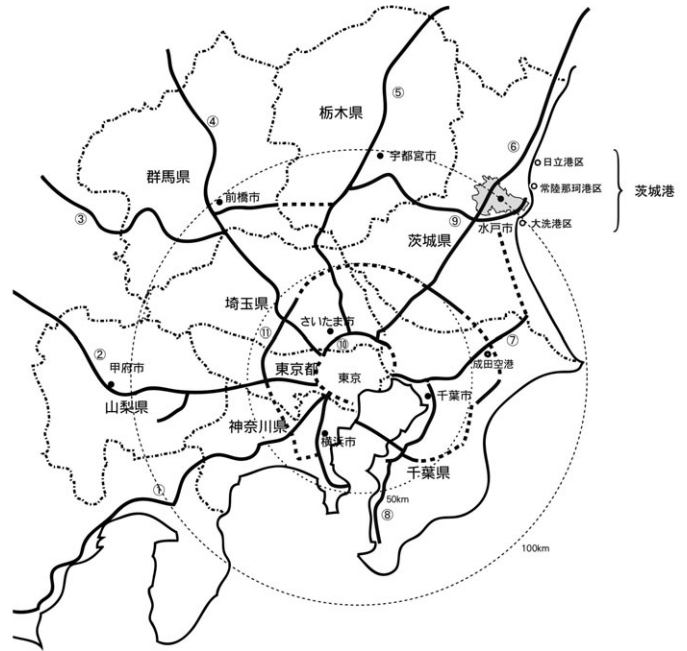
水戸市建設部道路河川管理課

1. はじめに

水戸市の概要

水戸市は、首都東京から約100キロメートルの距離にあり、関東平野の北東部に位置する茨城県の県庁所在地であり、市域面積は、217.45平方キロメートル、人口26万1千人（平成21年8月1日現在）となっています。市域の北側は那珂川を隔てて、ひたちなか市、那珂市に接しており、東側は大洗町に、西側は笠間市に接しています。

那珂川の低地と桜川の浸食谷に挟まれた台地には、商業・業務機能を持つ中心市街地が形成されており、その東端は水戸城址となっております。また、西北部の丘陵地区は、森林公園やかたくりの里公園等があり、豊かな緑地地帯となっています。市街のほぼ中央には、日本三名園の一つである偕楽園や千波湖を中心とした大規模な公園・緑地が広がり、本市の誇る自然景観が形づくられています。



- | | |
|-----------|---------------|
| ① 東名高速道路 | ⑦ 東関東自動車道水戸線 |
| ② 中央自動車道 | ⑧ 東関東自動車道館山線 |
| ③ 上信越自動車道 | ⑨ 北関東自動車道 |
| ④ 関越自動車道 | ⑩ 東京外環自動車道 |
| ⑤ 東北自動車道 | ⑪ 首都圏中央連絡自動車道 |
| ⑥ 常磐自動車道 | |

市域面	217.43km ²	東西 23.7km	南北 18.2km
標高	最高 183.8m	最低 0.1m	
市役所の位置	東経 140° 28' 17" 北緯 36° 21' 57"		



■偕楽園



■千波湖全景

2. 道路の現況と課題

水戸市の道路状況については、延長が約 2,142 キロメートルありますが、市道の改良延長は約 829 キロメートル、舗装済延長 1,765 キロメートルと、改良率は 38.7 パーセントにとどまっているほか、舗装率は 82.4 パーセントとなっております。このように市内にはまだまだ狭い道路が多い上、老朽化した道路、未舗装道路も多くあるのが現状です。

本市の道路は、昭和 40 年代に砂利道からの舗装率を上げるため、碎石を敷きローラで固めたマカダム舗装等の簡易な手法で整備された道路が多く残っており、老朽化し損傷しやすい状態にあります。歩道につきましては、グレードアップによるインターロッキングブロック舗装、平板ブロック舗装等の工法が行なわれた箇所等では、車両出入り口のがたつきや破損により歩行者の転倒など苦情が寄せられたりしております。

また、街路樹については、夏から秋にかけての毛虫対策、鳥類の飛来により糞（ふん）などの処理に苦慮しているのが現状です。

市内道路状況（平成 21 年 7 月 1 日現在）

区 分	延 長 (m)	改 良 済		舗 装 済	
		延長 (m)	改良率 (%)	延長 (m)	舗装率 (%)
水 戸 地 区	1,751,445.35	746,191.20	42.60%	1,495,723.04	85.40%
内 原 地 区	390,850.64	83,685.90	21.41%	270,082.46	69.10%
合 計	2,142,295.99	829,877.10	38.74%	1,765,805.50	82.43%



■千波大橋（都市計画道路梅香下千波線）



■市道改良工事

3. 道路愛称設定について

(1) ねらい

水戸市では、市民の日常生活に密着した道路に潤いを与え、快適で魅力ある道路環境を創造するため、市民の声を反映させながら、道路の愛称を平成 7 年度に設定いたしました。愛称の効果としては、次のようなものがあげられます。

- ① 道路利用者にとって、わかりやすく利用しやすいものとなる。
- ② 道路と地域文化の結びつきが深まり、道路に対する親しみと愛護精神が高まる。
- ③ 沿線地域及び水戸市のイメージアップにつながり、地域活性化のきっかけとなる。
- ④ 住民の理解と共感を得ることができ、市民全体の開かれた道路行政の推進が図られる。

(2) 選定の考え方

道路愛称名の選定にあたっては、広く市民参加の観点から、一般公募により対象路線を選定しました。対象路線としては

- ① 個性的で愛され親しまれているもの。
- ② 地理的、歴史的、文化的などの要素を生かした特色のあるもの。
- ③ その地域や水戸市のイメージアップを図られるもの。
- ④ 国・県・市道の幹線的な道路で、概ね 300m 以上の整備済み、完了予定のもの。

等があげられます。

なお、すでに定着し親しまれている通称や命名されたもの等については、それらを十分に尊重し、選考の過程で取り扱いました。

(3) 推進の方針

道路愛称名選定事業を推進するにあたり、その推進体制として庁内の関係各課による『水戸市道路愛称選定委員会』を設けて内部的な検討や処理をはかるとともに、併せて有識者からなる補助機関として『水戸市道路愛称名選定専門委員会』を置き、専門的な意見を聴取しながら水戸市道路愛称名を選定しました。

(4) 経過について

道路愛称については、市内各小学校（4年生以上・約 9,000 名）中学校全生徒（約 9,000 名）及び各家庭に応募要項等を配布するとともに「広報水戸」、「新聞」、「情報ネットワークみと」等にて PR を行い、応募箱を市内各公民館をはじめ 81 箇所（市内各小・中学校・支所・出張所等）に設置し募集いたしました。

その結果、194 路線、1,238 点の作品が集まり、これらの作品について、愛称選定調査委員会を開催し、検討を重ね、路線、愛称のしぼり込みを行い、愛称選定専門委員に諮り審議した結果、22 路線に愛称名が決定されております。平成 15 年にはさらに 10 路線が選定され市民の皆様にご覧いただいております。

道路愛称名一覧表

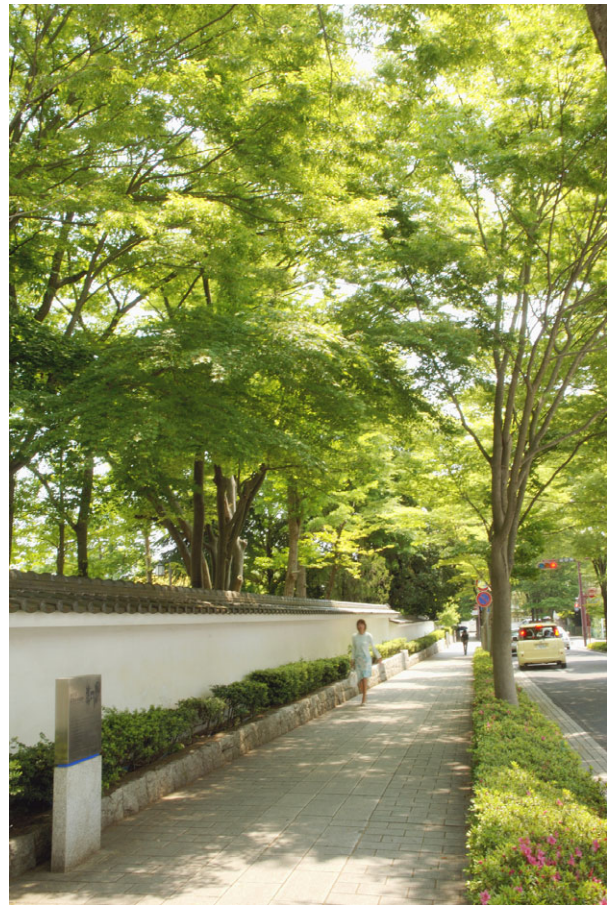
平成 8 年決定路線						平成 15 年決定路線		
番号	愛称名	延長 km	番号	愛称名	延長 km	番号	愛称名	延長 km
1	ダイダラ坊通り	0.8	12	柵町城東通り	1.2	1	徳川博物館通り	0.8
2	百合が丘通り	1.8	13	銀杏坂	0.4	2	あじさい通り	0.9
3	御茶園通り	1.4	14	黄門さん通り	1.5	3	東前花みずき通り	1.1
4	好文橋通り	1.2	15	駅南通り	1.4	4	好文亭表門通り	0.8
5	アナハイム通り	0.8	16	市役所通り	0.3	5	偕楽園御成門通り	0.9
6	歴史館通り	0.6	17	さくら通り	5.0	6	県庁南大通り	1.7
7	ふたば並木通り	1.2	18	ハミングロード 523	0.6	7	ふれあいロード 5・6・7	0.5
8	浜見台通り	0.6	19	駅南平和公園通り	1.2	8	赤塚駅南中央通り	1.3
9	水戸城址通り	0.6	20	駅南中央通り	2.4	9	赤塚駅北中央通り	0.5
10	三の丸歴史ロード	0.8	21	備前堀通り	1.0	10	梅が丘通り	2.1
11	芸術館通り	1.2	22	すずかけ通り	0.6	※	三の丸歴史ロード	0.7



■備前堀通り



■三の丸歴史ロード（大手橋）



■三の丸歴史ロード

4. ごみの不法投棄

当市においてもごみの不法投棄は後を絶たず、市民生活や環境に与える影響が大きな問題となっています。平成13年の家電4品目のリサイクル法等の施行から処分費用のかかるテレビや冷蔵庫などの家電品や粗大ごみの不法投棄の増加が著しく、人通りの少ない道路や山林に投棄され、不審火や生活環境の悪化の原因となっています。

不法投棄の対策について

後を絶たない不法投棄に対して、ボランティアによる不法投棄ごみの回収をおこなっている町内会もあります。この場合はごみの回収・分別は町内会で行い、搬出・処分は市で行なっています。ただし、このようなケースは一部地域にとどまっておりますが、以前のように市だけが対策を行なうのではなく、地元町内会が良好な生活環境の保全に大きな関心をもって不法投棄にあたっています

当市では防止対策として道路の草刈りや、ごみ対策課の協力により不法投棄防止看板や監視カメラの設置などごみを捨てにくい環境を作るとともに、地元町内会と協力し不法投棄監視パトロールを行い、不法投棄の早期発見と予防に努めています。



■不法投棄現況



■町内会による清掃活動



■町内会による道路法面草刈り



5. 今後の維持管理

当市では、道路管理の効率化を目指し、財産管理や相談、道路法に基づく許可については道路河川管理課が担当し、道路を常に良好な状況にしておくため、維持補修工事を土木補修事務所が行なっています。

また、平成17年2月に合併した内原地区については、迅速な対応を図るため内原支所建設課が担当しています。

老朽化や破損している道路については、安全で快適な暮らしを確保するため、さまざまな規模で補修を行なっています。日々の管理が重要と考えていることから、計画的に道路パトロールを行ない、道路の破損箇所の早期発見及び補修に努めています。さらに、市民の方々による道路の破損などの通報により、迅速な復旧作業を行なうことができ良好な路面の確保に繋がっております。

近年、交通量の増加、車両の大型化等により、道路を取り巻く課題も多様化しており、道路の維持管理を効率的に行い、様々なニーズに応えることが重要となっております。

今後の維持管理については、市独自では限度があることから、市民の方々と協力しながら、適切な管理に努めるとともに、道路愛称事業を継続するなど、市民に親しまれる道路管理を目指してまいります。